

KM45 の施工について

★.KM45 の特徴★

- ①一成分形のシーリング材。
- ②タイプは乾燥硬化型（カチカチにはなりません）
- ③シリコナイズド アクリル ラテックスとは、アメリカではスタンダードのアクリルコーキングをシリコナイズトと表現しています。
- ※④幅広い温度環境で柔軟性を発揮。
- ※⑤多種類の表面に施工可能。
- ※⑥塗布後、完全に乾燥した後であれば（2 時間以上）、水性塗料で塗装が可能。
- ⑦新築、リフォームにお使いいただけます。
- ⑧内外装施工可能。

★ズームアップ！（※のついた番号の詳細）★

※④ 施工時、施工後の適正気温について

- ・塗布する時の適正外気温 7.2℃～35℃
- ・推奨保管温度 4.5℃～37.8℃
- ・施工後の耐熱温度 5℃～49℃

！施工する時の塗布面が 10℃以下の場合にははがれの原因となりますので施工はおすすめしません。

※⑤ 施工箇所・被着体について

- ・サイディングの目地
(ALC パネル、コンクリート、金属系サイディング、窯業系、タイル、擬石などの目地)
- ・サッシと壁の隙間
- ・天井と壁の隙間
- ・柱と壁の隙間
- ・窓、ドアの枠
- ・木質パネルの目地
- ・コンクリート
- ・木部（ログハウス、ログファニチャー、ログ遊具）
- ・配管・ダクトまわりの目地
- ・モルタル壁のヒビ割れ修復
- ・ビス穴の処理
- ・木部のヒビ割れ

●施工できない箇所やもの

コンクリートの破損、大理石、モルタルの破損、ガラスまわり、ガラスとサッシのグレージング、陶磁器、幅 1 センチ以上の目地

★施工の注意★

- ・コーキング工事は晴天の日に行うことをおすすめします。
- ・前日、前々日が雨や雪の場合は、コーキングの接地箇所および周辺がよく乾燥していることを確認してから作業を行ってください。
- ・以下の条件の場合、不具合が発生するおそれがありますので施工は中止してください。

雨や雪が予想される場合

目地部や被着面が湿っている場合

(※施工後、雨、雪、湿気の高い天候の場合も、コーキングに不具合が発生しやすくなります。ご注意ください。)

※KM45 は、(塗装して乾いたら) 塗料を塗ることが出来ますが、油性塗料については、塗布後乾燥すると固くなりやすく、ヒビや剥がれの原因となりますのでおすすめできません。

※マスキングテープは外壁材に合わせて、適切なものを選定してからお使いください。